

英語科 学習指導案

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校 市川 夏樹

1 対象・日時 2年C組 令和8年1月23日(金) 1校時

2 本单元で育成したい資質・能力(評価規準)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①現在完了形(経験用法)の特徴やきまりを理解している。 ②現在完了形(経験用法)の意味や働きの理解を基に、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く技能を身に付けている。	①弘明寺に住む横浜国立大学の留学生や外国人に、弘明寺商店街の店を利用してもらうために、商店街の店について、自分が伝えたいことや情報、考えたことや感じたことなどを明らかにし、それらを整理した上で、内容的にまとまりのある文章を書いている。	①弘明寺に住む横浜国立大学の留学生や外国人に、弘明寺商店街の店を利用してもらうために、商店街の店について、自分が伝えたいことや情報、考えたことや感じたことなどを明らかにし、それらを整理した上で、内容的にまとまりのある文章を書こうとしている。

3 単元「Lesson7 Gifts from China」について

本单元では、『学習指導要領』における「書くこと」の内容「イ日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようとする。」を扱い、学習課題を「弘明寺に住む外国人に、弘明寺商店街のお店を利用してもらえるように、英語で弘明寺商店街ガイドブックを作ろう。」と設定した。「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、コミュニケーション能力の基礎を養う。」という『学習指導要領』における外国語科の目標を踏まえながら、地域の魅力を英語で発信することをねらいとした学習活動を展開する。

実際に弘明寺商店街協同組合の方々と話をすると、近くに留学生会館があるにもかかわらず、外国人客が少ないという課題が挙がってきた。そこで、商店街のガイドブックを英語で作成する活動を通して、地域の課題を解決することに取り組むとともに、英語を実際に使うことの意味や必要性を実感できる機会としたい。

第1次では、教科書の題材を活用し、現在完了形をはじめとする表現や商店街の店を紹介する英語表現を学習し、実際のやりとりを想定した活動を通して、学んだ表現を自分の言葉として活用できるようとする。第2次では、店の特徴や魅力などを調べた後、集めた情報を英語で整理し、相手に伝わりやすい紹介文としてまとめる。最後に、個々で作成した英文をまとめて、クラスでひとつのガイドブックを作成する。完成したガイドブックは留学生に渡し活用してもらう。また、弘明寺商店街にも置いてもらう予定である。学習の成果を形に残すことでの地域の課題を解決することと英語の学習とを結び付け、学びの実感を得られるようにしたい。教科書を基盤とした基礎的な学習を踏まえて、地域や留学生とつながる実践的な学習へと発展させることで、生徒が学んだことを生きた言葉として活用できることを期待したい。

4 生徒の学びの履歴

生徒はこれまでの学習において、教科書の登場人物の学校生活を通して、オーストラリア、シンガポール、中国といった国々の言語、文化、生活習慣等について学び、異なる価値観に触れる機会を得てきた。その中で、外国語を学ぶことは他国の文化を知るだけでなく、自国の文化や地域の良さに目を向け直すきっかけにもなることに気付き始めている。本单元では、そのような学びを土台として、今度は自分たちの地域の魅力を、実際に日本で生活する外国人に英語で伝えるという発信型の学習に取り組む。異文化を理解する立場から自文化を伝える立場へと視点を転換させる中で、言語や文化の相互理解を深め、自他の文化を尊重する姿勢の育成を図りたい。

また、総合的な学習の時間「CAN」(キャリア教育)での企業訪問を通じたインタビュー経験を活かし、商店街の方々へのインタビュー活動に取り組むことで、実際の情報収集力やコミュニケーション能力を高めていく。

5 資質・能力育成のプロセス (10時間扱い、本時 は8時間目))

次	時	評価規準 (丸番号は、2の評価規準の番号)	【 】内は評価方法 及び Cと判断する状況への手立て
1	1 6	<p>知① 現在完了形（経験用法）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 (○)</p> <p>技② 現在完了形（経験用法）の意味や働きの理解を基に、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く技能を身に付けている。 (○)</p> <p>思① 弘明寺に住む横浜国立大学の留学生に、弘明寺商店街についてインタビューを行い、必要な情報を聞き取り、適切に質問している。 (○)</p> <p>態① 弘明寺に住む横浜国立大学の留学生に、弘明寺商店街についてインタビューを行い、必要な情報を聞き取り、適切に質問しようとしている。 (○)</p>	<p>【行動の観察】 C：現在完了形（経験用法）が教科書本文中でどのような場面で使われているかを確認するよう促す。</p> <p>【行動の観察】【ワークシートの記述の確認】 C：現在完了形と過去形の違いを繰り返し確認し、基本本文を用いた練習で理解を補う。文章作成では、支援シートや語句リストを提示して内容を整理しやすくし、短文をつなぐ練習を通してまとまりのある文章を書けるよう支援する。</p> <p>【行動の観察】【ワークシートの記述の確認】 C：グループ内で役割分担をさせ、メモを取りながらスムーズにインタビューを行えるよう促す。</p> <p>【行動の観察】【ワークシートの記述の確認】 C：事前に実際のインタビューを想定し、ロールプレイで練習を行うことで、スムーズにインタビューを行えるよう促す。</p>
2	7 10	<p>思① 弘明寺に住む横浜国立大学の留学生や外国人に、弘明寺商店街の店を利用するために、商店街の店について、自分が伝えたいことや情報、考えや感じたことなどを明らかにして、それらを整理した上で、内容的にまとまりのある文章を書いている。 (○)</p> <p>態① 弘明寺に住む横浜国立大学の留学生や外国人に、弘明寺商店街の店を利用するために、商店街の店について、自分が伝えたいことや情報、考えや感じたことなどを明らかにし、それらを整理した上で、内容的にまとまりのある文章を書こうとしている。 (○)</p> <p>態① 本単元の学習を振り返り、変容や成果をまとめようとしている。 (○)</p>	<p>【ワークシートの記述の確認・分析】 C：留学生へのインタビュー結果を全体で共有する場を設ける。他者の意見や表現を参考にできるようにすることで、書く内容を整理しやすくし、まとまりのある文章作成を支援する。</p> <p>【ワークシートの記述の確認・分析】 C：留学生へのインタビュー結果を踏まえ、留学生が知りたい情報や理解しやすい表現の視点を示すことで、文章の内容を整理し、読み手に配慮したまとまりのある文章作成を促す。</p> <p>【振り返りの記述の確認・分析】 C：他者の成果物や留学生からの感想を参考に、自分たちの改善点や今後の課題を整理する視点を与えることで、改善点を明らかにし、次の学習に生かすことを促す。</p>

主たる学習活動	指導上の留意点	時
<p>[Lesson7 Gifts from China]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での町紹介を思い出しながら、既習表現を使って自分の町について簡単な英語で紹介する。 ・教科書の本文を聞いたり読んだりして、新出表現や内容の理解を図る。 ・教科書本文の音読・穴あき音読を行う。 ・学習プランを活用し、本単元の活動に見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習課題①】 「弘明寺に住む横浜国立大学の留学生に、弘明寺商店街についてインタビューしよう。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・弘明寺商店街で行ったことがある店についてペアで話し、その後クラス全体で内容を共有する。 ・留学生や外国人に向けたガイドブックを作成するに当たり、どのような内容を載せるかについてグループで話し合い、まとめる。必要に応じて調べ学習を行う。 ・教科書の表現を活用して、ガイドブックを作成するに当たり、留学生に聞く必要がある質問を英語で考え、インタビューの準備をした後、実際に留学生に弘明寺商店街について、英語でインタビューを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、小学校での学習を振り返りながら英語で地域を紹介する意欲を高める。 ・新出表現がどのような場面で使用されているか確認するよう促す。 ・これまでの学習を基に、異文化を理解する視点から内容を捉えるように促す。 ・学習プランを示し、学習の流れと身に付けさせたい資質・能力を共有するとともに、英語を学ぶ意義について考えるよう促す。 ・弘明寺商店街に関する知識を洗い出させる。 ・あらかじめ質問を考えさせるが、実際の即興的なやりとりを想定させ、有用な語彙や表現をメモしておくよう促す。 ・留学生や外国人に向けたガイドブックを作成するためにはどのような質問が有効か、考えるよう促す。 ・聞き取った内容をメモに残すよう促す。 	1 6
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習課題②】 「弘明寺に住む横浜国立大学の留学生や外国人に、英語で弘明寺商店街ガイドブックを作ろう。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・弘明寺商店街のお店にもインタビューを行い、必要な情報を収集し、集めた情報を整理して、留学生や外国人にとって意味のあるガイドブックの内容を英語でまとめる。 ・整理した情報をもとに、留学生や外国人に伝わるようにガイドブックを作成する。その後、グループ内でお互いの英文を読み合い、推敲する。 ・ガイドブックを完成させた後に展示し、他の人の成果物を見て鑑賞する。 ・本単元の振り返りを行う。 <p>※作成したガイドブックは実際に留学生に渡して活用してもらい、その感想を英語でもらう。また、弘明寺商店街にも置かせてもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問で行ったインタビューを想起させる。 ・インタビューで聞き取った内容を基に、ペアで話す活動を行い、その内容を整理して書く活動へと発展させる。 ・留学生へのインタビュー結果と弘明寺商店街のお店へのインタビュー結果を踏まえてガイドブックを作成するよう促す。 ・他の人の英文を読み合い、留学生からの感想を読み合いながら、本単元の学習課題の改善点を明らかにし、今後の課題につなげる。 	7 10

6 学びの実現に向けた授業デザイン

【「学びに向かう力」が高まっている生徒の姿】

- ・読み手である横浜国立大学の留学生や外国人に配慮し、伝わりやすさや内容の工夫を意識してガイドブックを作ろうとする姿。
- ・留学生や地域の方々とのかかわりや交流を通して、地域や社会とのつながりを実感し、英語を学ぶ意義を見いだそうとする姿。



【「学びに向かう力」を高めていくための指導と評価の工夫】

○観点別学習状況のあり方

1. 「知識・技能」の指導と評価

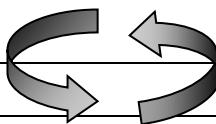
商店街紹介や留学生へのインタビュー活動を通して、語彙や表現、現在完了形などの言語材料を実際のやりとりの中で活用できるようにする。教科書本文の音読練習やモデル文をもとにしたリテリング活動を取り入れ、自分の調べた情報を英語で表現できるように指導する。また、留学生へのインタビューで必要となる質問や応答の表現を事前に学び、活動の中で実際に使う場面を設けることで、知識を技能へと定着させる。評価については、習得した語彙や表現、言語材料といった英語使用の正確さに着目して行う。ワークシートの記述や完成したガイドブック、定期テストで類似の問題を出題し、知識を文脈に応じて活用できているかを総括的に評価する。

2. 「思考・判断・表現」の指導と評価

留学生へのインタビューを行い、読み手を意識しながら情報を収集・整理し、留学生に弘明寺商店街の魅力を伝えるガイドブックを作成するという明確な目的と場面を設定して言語活動を行う。インタビューでは、相手の答えを受けて追加の質問を考えるなど、状況に応じて柔軟に表現できるように促す。ガイドブック作成の際には、インタビューの結果を踏まえ、留学生や外国人にとって有益な内容になっているかを考え、伝える順序や言葉を工夫しながら、自分の伝えたいことや情報、考えや感じたことを表現して、まとまりのある文章を書くことを指導する。また、ガイドブック作成を通して、図や写真を効果的に使うことも含め、読み手にとって理解しやすい構成を指導する。評価については、上記の言語活動において、目的や場面、状況等に応じた構成や表現が工夫されているかといった内容の適切さを総括的に評価する。

3. 「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価

留学生や地域の方々との交流を通じて、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションする態度を育成する。外国語科における「学びに向かう力、人間性等」を重視し、文化理解や相手への配慮を通して、自らの学びを人生や社会に生かそうとする姿勢を養うよう指導する。評価については、言語活動において表出された態度を総括的に評価する。また、振り返りの際には、他の人の成果物を見たり、留学生からの感想を読んだりする中で、本単元の学習課題の改善点を明らかにし、自分の学びを自覚的に捉えている状況についても着目する。



【本単元の学習と「学習の基盤となる資質・能力」とのつながり】

- ・これまでに学習してきた基本的な語彙や文構造を土台として、それらを活用しながら現在完了形（経験用法）を使った表現へと発展させる。既習事項を踏まえ、自分の経験や感想を英語で適切に伝えることができる**言語能力**の育成を目指す。教科書の音読やペアワークを通して表現方法に慣れた上で、自分の実体験と結びつけて文を構成する活動を取り入れることで、学んだことを使って伝える力の向上を促す。
- ・読み手である横浜国立大学の留学生や外国人の視点を意識したインタビュー活動を通じて、目的に応じた情報を収集・整理し、それらを表現に反映させることで**情報活用能力**の育成を図る。
- ・地域に実在する「外国人客が少ない」という課題に着目し、その解決策として英語によるガイドブック作成に取り組むことで、**問題発見・解決能力**の育成を図る。生徒は課題を自分ごととして捉え、商店街の魅力をどのように伝えればよいかを考えながら、情報を収集・整理し、効果的に発信する力を身に付ける。また、英文作成後には、相互評価を基に内容や表現を見直す活動を通して、相手意識をもった表現力と課題解決への姿勢を育成する。